

DEBUT 首長

前橋市長 山本 龍氏

災害リスクの低さで企業誘致 年金資産の差し押さえしない

前橋市 県中央部に位置し県庁や日銀支店などが集まる行政都市。合併で赤城山山頂部分まで市域に編入。特産は豚。人口34万人で高崎市に次ぎ県内2位。

——**公共施設の建設中止を掲げ、2期8年を務めた前市長を破った。**

無駄なハコモノをつくるつもりはまったくない。高木政夫前市長が掲げた清掃工場はひとまず凍結する。既存工場の改修など多様な選択肢を改めて検討するつもりだ。現在駐車場になっている市の中心部を再開発して公共施設をつくる計画もあったが、人を集めるためにはこのまま駐車場でもいいかもしれない。

——**4年で4000人の雇用創出も掲げた。**

雇用確保が一番大きな目標だ。2本柱で取り組みたい。1つは外部からの企業誘致。市内での土地取得費の3割を助成する新しい誘致制度を導入する。災害のリスクが小さく農業が盛んといった長所を訴えて、食品メーカーの工場やデータのバックアップセンター、メガソーラー

(大規模太陽光発電所)などを誘致したい。

もう1つは市内企業の雇用拡大。住宅リフォームや太陽光発電設備の導入に対する補助金を支給する。市内のリフォーム会社を使うことを条件にして市民の雇用が増えるようにする。誘致制度もリフォーム促進も県内の自治体の制度をそっくりそのまま採り入れるつもりだ。

——**中心市街地の活性化策は。**

1回200円で乗れるデマンドバスを午後10時まで走らせることを考えている。帰りにタクシーを使わずにすむようになれば交通費が浮く分、もう1杯、もう1軒飲めるようになり、中心街全体に消費が波及する。今年秋から社会実験を始めたい。

また商店街の空き店舗には、合併した旧町村部の物産を並べた店を出すことを検討している。市が開発して、運営は民間に委託するかたちになるだろう。

2010年から空いているJR前橋駅前の大型商業施設については、前市長が導入した中核テナントに対する出店補助は継続す



やまもと・りゅう 1959年、群馬県草津町生まれ。85年早大商学部卒、政治家を志して小淵恵三衆議院議員の秘書に。群馬県議を3期つとめ、2007年に県知事選に出馬するも落選。再び県議に復帰したのち、自民党の推薦を受けて12年の前橋市長選に出馬し勝利。52歳。

る。また駅前という立地を考えて、市の観光関連部署を入れて案内機能を持たせるつもりだ。

——**前市長は国民健康保険税の滞納者に対し、年金などの資産差し押さえに踏み切り、収納率は全国トップレベルになった。**

年金資産の差し押さえはやらない。無理に差し押さえれば生活保護に転落する人が増え、社会不安をあおることになる。きちんと市民と向き合って、納税相談を積極的にやりたい。結果として収納率が下がったとしても、それはかまわない。

——**教育面では30人学級の実現も公約に掲げた。**

当選後に調べたところ、空き教室が少なく実現が難しい学校もあることがわかった。できることから実施するつもりだ。校舎を増築するわけにもいかないので30人学級にこだわらない。教員の負担を減らすために他の対策を考えたいと思う。

(前橋支局 山崎 純)